



特別支援教育ほっと通信

令和5年10月
西部教育局

働く上で「必要な力」「求められる姿」

就労先や進路指導担当者等からいただいた御意見を参考に、働く上で「必要な力」「求められる姿」についてまとめました。

障がいのあるなしに関わらず、すべての子供たちに「必要な力」「求められる姿」です！

基本的な生活習慣

- 衛生習慣を獲得している。
- 整理整頓ができる。
- 時間を意識することができる。

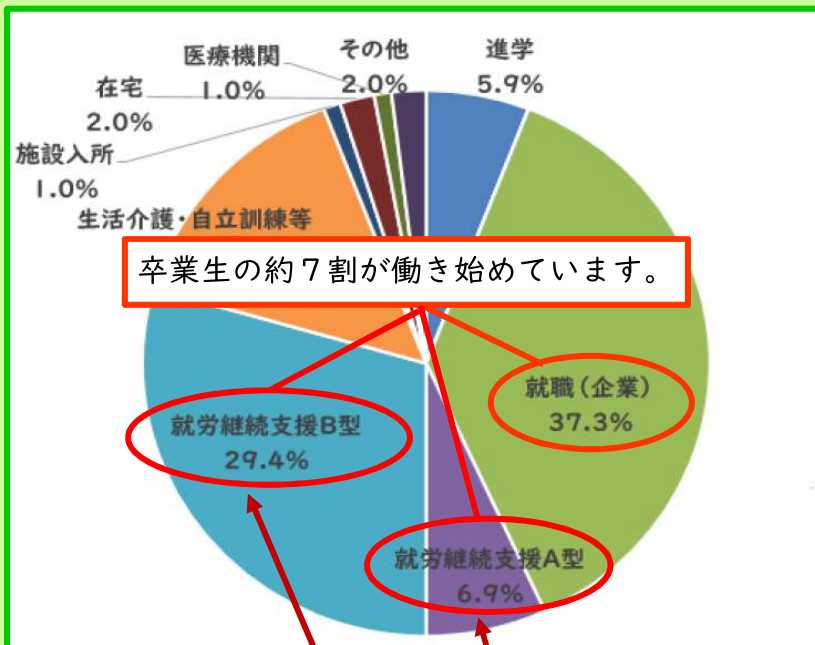
コミュニケーションの力

- 挨拶・返事ができる。
- 丁寧な言葉遣いができる。
- 報告・相談ができる。
- 自ら話しかけることができる。
- 言葉での指示が理解できる。

「令和5年度鳥取県の特別支援教育－理解と啓発のために－」より（鳥取県教育委員会特別支援教育課のホームページから御覧いただけます。）

【特別支援学校高等部・専攻科卒業者の進路】

（令和5年3月卒業者）



卒業生の約7割が働き始めています。

元気な心と体

- 一日働き続ける体力がある。
- 働くことに意欲的である。
- 集中力がある。
- 責任感がある。

社会性（他者との関係づくり）

- ルールを守る。
- 嘘を言わない。
- 感情をコントロールすることができる。
- 自分で考えて行動できる。
- 柔軟に対応できる。
- 危機対応ができる。

就労継続支援とは、一般企業等での就労が困難な人に、就労や生産活動の機会を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。
A型…65歳未満で、雇用契約に基づく就労が可能な障がい者等
B型…一般企業等への雇用に結びつかない方や、一定年齢に達している障がい者など

効果的に子供たちの力を高めるためには、「**家庭との連携**」も必要不可欠です。課題を共通理解した上で目標を明確にし、取り組みを進めましょう。

「活動ありき」ではなく、「**活動をとおして、どのような力を育成するのか**」を明確にすることが重要です。子供たちの現状を適切に把握し目標を明確にした上で、授業の中で意識して指導しましょう。

子供たちにとって**先生方はロールモデル**です！働く上で必要な力の獲得につながるよりよいモデル（言語モデル、行動モデル、思考モデル）になることを常に意識しましょう。



【参考】
R3.7月お役立ち情報

働く上で必要な力は、**学校生活の様々な場面で身に付ける**ことができることを意識しましょう。